

# NEWS LETTER 遊文通信

2014年1月発行

VOL.

32

謹

賀

新

年

## 2014年～躍進に向けて

お取引先の皆様

いつも遊文舎に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
でございます。

皆様方のおかげで、わたくしども遊文舎は厳しい世の中の中なんとか2013年度も越年することができました。例年のことですが、2013年度にも実に様々なことがございました。世の中にも、遊文舎にも。良いことも悪いことも、うまくいったことも失敗したことも。これらが肥やしとなり、数年後に大きな果実となるような日々の処し方を考え、考動に移したいと考えています。

遊文舎の経営理念は

**私たち遊文舎は自立した社員一人ひとりが  
考動し、挑戦し、成長を持続することにより  
社会に貢献します** です。

これは、会社は人の集合体であり、そこで働く人間一人ひとりが自発的積極的に物事を捉え、考え、挑戦（TRYアンドERROR）を繰り返すことにより成長すること、会社そのものも大きく成長し、そこに關わるあらゆるステークホルダーの皆様の幸福に寄与できるという私どもの信念でございます。

遊文舎の行動指針は

**関わる全ての人々が楽しく幸福であるために、  
仕事は面白くやらかなアカン！** です。

これは、遊文舎となんらかの形で関わっていただいた人皆様が関わってよかったと思っていたただくことが私どもにできる究極の社会貢献ではないかという考えを言語

化したものです。関わっていただいた方というのは、数ある印刷会社の中から私も遊文舎をお選びいただいたお客様はもちろん、お世話になっている仕入れ取引先様、力を貸してくれている従業員、そのご家族など全ての人々が含まれるの言うまでもありません。

2014年度も消費増税、TPP問題、原発問題等難局がまたある日本において、上記経営理念と行動指針を従業員一同大切に、皆様方にとってより役立つ会社に成長してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 木原 庸裕



今月の一品

「簡単♪ちくわの海老チリ風」



[材料]

- ・ちくわ 2本
- ・片栗粉 適量
- ・スイートチリソース 大さじ1

- ちくわを食べやすい大きさに切ります。
- ビニール袋に片栗粉と①のちくわを入れて空気を入れて振ります。  
(普通にまぶしても良いですが、ビニール袋を使った方が、簡単で早いです。)
- ②とスイートチリソースをフライパンに入れて炒めます。

完成!

作った人: みやまい

★お弁当に★

忙しい朝にお弁当の1品としてオススメです。ちくわ以外でも、鶏肉、豚肉、なんでも合います。100均にも売ってるスイートチリソース。結構便利です。筆者みたいに焦がさないように注意してください(笑)

編集後記

あけましておめでとうございます。年末年始、休暇を満喫できましたでしょうか?

お餅の季節になりました! 砂糖醤油、味噌、きな粉、あんこ…楽しみ方が自在なので食べだすと止まりません。年末年始を実家で過ごすとしても一回り大きくなって仕事始めになってしまいます。今年は良い意味で大きく成長できる1年にしたいです。

今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。(みやまい)



株式会社

遊文舎

<http://www.yubun.co.jp/>

E-mail [info@yubun.co.jp](mailto:info@yubun.co.jp)

[大阪本社]

〒532-0012  
大阪市淀川区木川東4丁目17-31  
TEL: 06-6304-9325(代)  
FAX: 06-6304-4995

[東京営業所]

〒113-0033  
東京都文京区本郷3丁目29-10  
TEL: 03-5802-3815  
FAX: 03-5802-3816

社員の趣味第3弾。老若男女が楽しめる趣味をご紹介します。

# 将棋



コンピュータの進歩の早さを感じる事が日常の中で多くなってきたように思います。テレビはどんどん薄くなり、携帯電話は画面を触って動かす時代です。顔認識機能や指紋認証機能なんてのも、もう当たり前になってきました。そんなコンピュータの進歩は将棋界にも大きな反響を巻き起こしました。そう、将棋の現役プロ棋士が史上初めてコンピュータ将棋に負けてしまったのです。これには驚かされた方も多いのではないのでしょうか?

コンピュータ将棋自体はファミコンのある時代には既にありましたが、当時のその性能はというで見ると耐えないものでした。意味もなく同じ手を延々と繰り返したり、いきなり角で突っ込んできては自滅したりするコンピュータ将棋が後を絶ちませんでした。当然のことながら、そんな性能のコンピュータ将棋にプロ棋士は言わずもがな、アマチュアの上級者クラスですら負けることはありませんでした。

コンピュータ将棋が目に見えて力をつけてきたのは2005年頃のことでした。しかし、アマチュアのトップクラスともいい勝負が出来るまでの強さになったものの、角落ちのハンデをもらっても負ける程にプロ棋士とは力にまだまだ差がありました。

それが今年2013年3月のこと、まさか現役プロ棋士が負けてしまうなんて……。たった8年間でここまで強くなるものなのですね。

コンピュータ将棋は約690台のコンピュータを結んだもので、1秒間に約2億5,000万手読むことが出来ます。更にプロ棋士の過去の棋譜を全てデータベース化し、それを基に思考までするようになった為、劇的に強くなったのだそうです。負けてしまったものの、そんな化け物と接戦の対局を繰り返したプロ棋士は素直に凄いと個人的には思います。

話は変わって、将棋は頭の体操に良いとされています。中国では教育の一環として子供に将棋を習わせるという話は最近ではよくあることなのだそうです。そんな将棋の中でも最も手軽に出来る頭の体操が詰め将棋です。詰め将棋とは相手の王を詰ますというだけの単純なパズルゲームです。

(図1)の局面を見て下さい。次の一手をどのように指せば相手の王を詰ませることが出来るかを考えてみて下さい。3手詰めで持ち駒は桂馬のみ、正解手は1つだけです。

正解は(図2)のQRコードのURLにて公開しています。(かわかみ)

詰め将棋にチャレンジ!!

図1



図2

正解はこちら!



<http://www.yubun.co.jp/shougi/>